

# 小野市地域公共交通会議

平成21年3月4日設置



## 概要

鉄道、バスなどの公共交通事業者は、少子高齢化の進展や、自動車の普及などにより利用者が減少傾向にあり、運賃だけでは採算が取れない現状となっている。また、市内を走るコミュニティバスは、費用対効果などの観点から、10ルートを週2日、1日2往復と限られた運行であるため、利用が大きく制限されている状況である。今後は、公共交通を可能な限り維持存続するため、地域住民と公共交通事業者、自治体が積極的に連携し、現状や課題・問題を抽出し小野市の地域性や創造性を活かした交通ネットワークを構築する必要がある。

### ○地域公共交通の現況

- ・JR加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道
- ・神姫バス(株)(路線数16系統)
- ・小野市コミュニティバス(らん♡らんバス)(運行地域:市全域)
- ・(デマンドバス)(運行地域:市全域)

### ○地域公共交通の課題

- ・利用者の減少
- ・運行経費の増加
- ・制限のあるコミュニティバス運行

### ○調査の主な内容

- ・市民意向調査
- ・現状調査・分析
- ・公共交通網再編のあり方の検討
- ・利便性の確保の検討
- ・公共施設等への乗り入れ対策
- ・バス停の環境整備検討
- ・実証実験運行計画の策定
- ・連携計画策定

### ○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・コミュニティバスの再編検討
- ・バス停の環境整備の検討
- ・乗り継ぎ施設整備の検討

